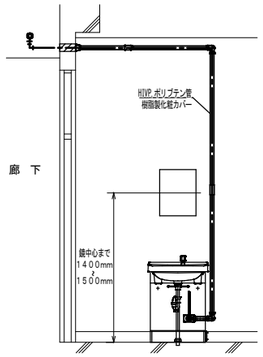
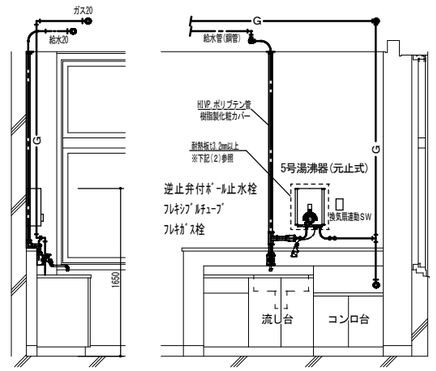
1 洗面化粧台廻り配管図　S＝FREE



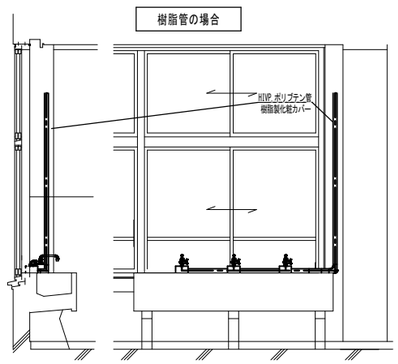
（1）化粧カバーは、壁色と同系色とする。
（2）校長室、応接室等の上級室は、隣室から洗面化粧台裏の壁を貫通し、給水するものとする。

2 流し台廻り配管図（1）　S＝1／30

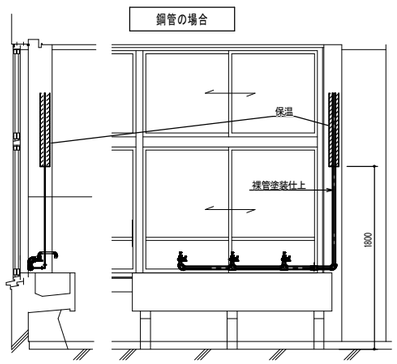


（1）換気扇連動ｽｲｯﾁは、電気工事へ支給とする。
（2）湯沸器の取付面が可燃性でガス機器防火性能評定（（一財）日本ガス機器検査協会）を取得していない機器を設置する場合は、背部に耐熱板（アルミニウム板で縁取りした3.2mm以上の耐火ボード）を設ける。
（3）5号湯沸器（元止式）設置高さは、上端でFL+1650mmとし、出湯管の長さを調整する。

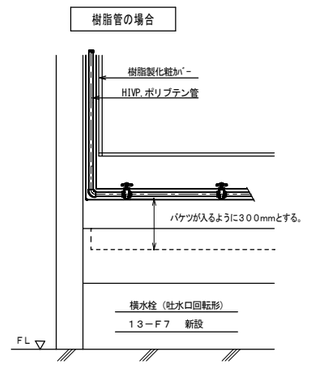
3 流し台廻り配管図（2）　S＝1／30



4 流し台廻り配管図（3）　S＝1／30

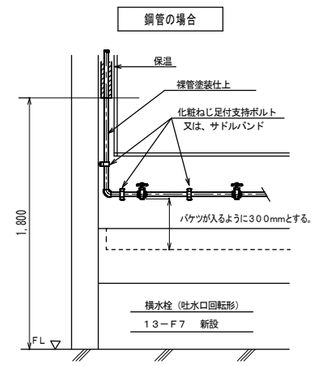


5 水飲み場廻り配管図（1）　S＝FREE



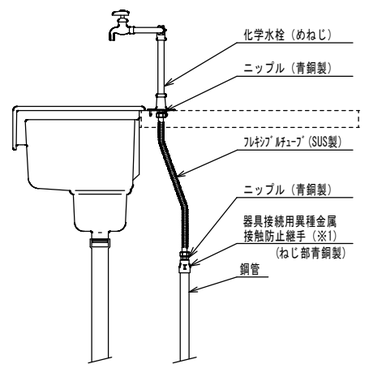
（1）横水栓（13-F7吐水口回転形）　新設
（2）既設水栓撤去部モルタル充填補修

6 水飲み場廻り配管図（2）　S＝FREE



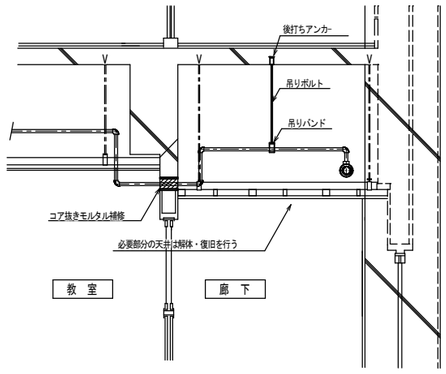
（1）横水栓（13-F7吐水口回転形）　新設
（2）既設水栓撤去部モルタル充填補修

7 化学水栓接続要領　S＝1／5

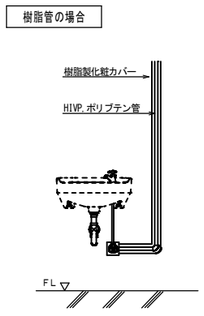


（※1）樹脂ねじの水栓接続用継手は使用してはならない。

8 廊下ー教室配管貫通断面図　S＝1／20

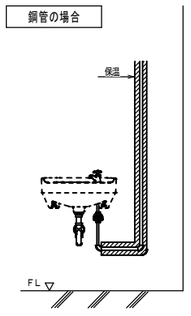


9 洗面器廻り配管図（1）　S＝1／20



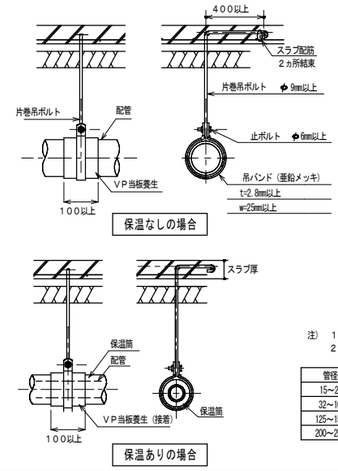
（1）既設洗面器再取付け
（2）立水栓　新設
（3）止水栓　新設
（4）Pトラップ　新設
（5）既設給水管壁貫通部モルタル充填補修

10 洗面器廻り配管図（2）　S＝1／20



（1）既設洗面器再取付け
（2）立水栓　新設
（3）止水栓　新設
（4）Pトラップ　新設
（5）既設給水管壁貫通部モルタル充填補修

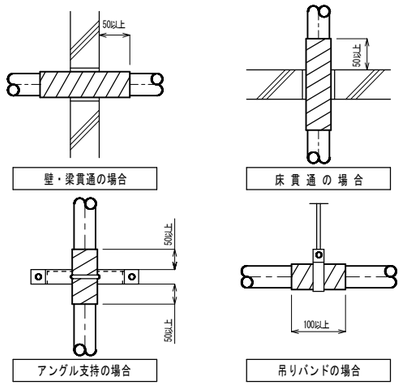
11 土間配管吊金物施工要領　S＝FREE



注）1　鋼管の場合は当板不用。
　　2　全ネジ支持棒は使用しない。

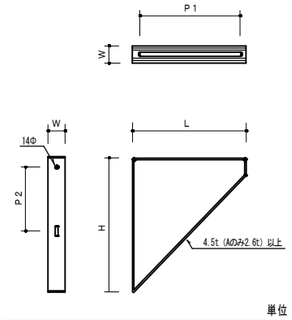
管径	管種	止ボルト	吊ボルト	吊り間隔
15~25	全て	6mm	6mm	1m
32~100	全て	9mm	9mm	1m
125~150	全て	13mm	13mm	1m
200~250	全て	16mm	16mm	1m

12 躯体貫通部・配管支持部・防食テープ巻要領図



注）コンクリート貫通部や支持材及び吊り材が配管と異種金属の場合プラスチックテープを巻く。
　　プラスチックテープは、1／2重ね1回巻きとする。
　　配管塗装仕上げを行う場合、防食テープ上は塗装を行わない。
　　合成樹脂を被覆した支持金具及び固定金具を用いる場合は、テープ巻は不要とする。

13 配管支持用ブラケット参考図（既製品）　S＝1／10

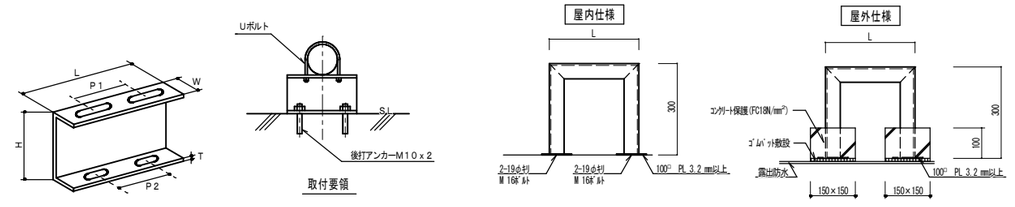


単位（mm）

	L	H	W	P1	P2	支持加重
A	110	144	25	74	70	25kgf
B	200	231	38	158	140	65kgf
C	290	336	57	237	180	70kgf
D	380	437	57	337	240	70kgf

（防錆処理）屋内隠ぺい：塗装（錆止め）
　　屋内露出　：塗装（錆止め＋合成樹脂調合ペイント）
　　屋外露出　：溶融亜鉛めっき（2種35、2種50）又はステンレス

14 配管支持用アングル架台参考図　S＝FREE



単位（mm）

	T	L	H	W	P1	P1穴径	P2	P2穴径	仕様Uボルト径	使用最大径
E	5.0以上	150	100	50	85	11x50	100	11x25	3/8丸	75A
F	5.0以上	200	100	50	95	11x85	100	11x25	3/8丸	125A
G	5.0以上	250	100	50	120	11x110	100	11x25	3/8丸	150A

番号	L	使用部材
H	200	L－40×40×3ᵗ以上
I	300	L－50×50×4ᵗ以上
J	400	L－50×50×4ᵗ以上
K	500	L－50×50×4ᵗ以上

（防錆処理）屋内隠ぺい：塗装（錆止め）
　　屋内露出　：塗装（錆止め＋合成樹脂調合ペイント）
　　屋外露出　：溶融亜鉛めっき（2種35、2種50）又はステンレス

番号に○印を付けたものを適用する。

備考

有限会社 サクライ設計
新潟県魚沼市小出島1209番地16　（小出東町）
一級建築士事務所登録(ﾁ)第1925号　TEL.025-792-3586・FAX.792-9990
一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人

設計者等 氏名	建築士登録番号等
櫻井 準治	一級建築士登録 第125055号

工事名称	湯之谷会館冷温水発生機等更新工事	年月日	2022．11
図面名称	機械設備改修共通図（1）	縮尺	1／100
		図面サイズ A1	1／200
		図面サイズ A3	
		図面番号	4
		意匠	
		電構	設